

アルファ・ウイン調査部

➤ 求職・求人情報のインターネットウェブサイト運営

- ・ディップ(以下、同社)は、インターネットを利用した求人情報を提供するサービスや人材紹介サービスを行い、アルバイト、派遣、契約社員、正社員、あるいは医療関係者などの特定の労働形態や職種などに応じた専用のウェブサイト運営している。同社の事業はメディア事業とエージェント事業に大別されている。
- ・メディア事業は求人広告事業であり、同社が運営するインターネット上の求人ウェブサイトに出稿する企業から受け取る求人情報掲載料が売上高となる。同社の主力ウェブサイトは「バイトル」、「バイトル NEXT」、「はたらこねっと」、の3つである。エージェント事業は、看護師専門の求人ウェブサイト「ナースではたらこ」を運営、人材紹介による成功報酬を収益としている。

➤ 2018年2月期第2四半期累計業績は期初予想上回る

- ・2018/2期第2四半期累計(以下、上期)決算は、売上高 18,777 百万円(前年同期比 17.8%増)、営業利益 5,069 百万円(同 17.9%増)であった。期初予想に対する達成率は、売上高 103.8%、営業利益 126.3%であった。営業利益が予想を大きく上回ったのは、売上高が堅調に推移したこと、経費の効果的使用に努めた結果と同社は分析している。
- ・メディア事業は、売上高 17,436 百万円(前年同期比 19.4%増)、セグメント利益 6,315 百万円(同 10.8%増)であった。主力のウェブサイト別売上高は、「バイトル」14,911 百万円(同 17.5%増)、「バイトル NEXT」1,546 百万円(同 67.6%増)、「はたらこねっと」2,518 百万円(同 32.4%増)であった。「バイトル NEXT」は、正規雇用を目指すというコンセプトによりアルバイトを採用しにくい、あるいはすぐ辞められてしまう事業所・会社の人手不足を打開したい求人需要及び求職者ニーズの合致で成長した。また、「はたらこねっと」が大きく伸ばしたのは、派遣会社のみならず一般企業の掲載による契約社数増による。
- ・エージェント事業であるウェブサイト「ナースではたらこ」は、売上高 1,340 百万円(前年同期比 0.7%増)、セグメント利益 461 万円(同 860.5%増)であった。効率性を重視しキャリアアドバイザー要員を減少させたことで利益が急増した。
- ・売上総利益率は前年同期比 1.4%ポイント改善の 94.2%となった。新卒 307 名の大量採用、広告宣伝活動の強化、本社移転費用によって販売費及び一般管理費は同 20.3%増と増収率を上回った。固定費負担増となったものの売上総利益率の改善で営業利益率は前年同期比変わらずの 27.0%となったが、増収効果により営業利益は同 17.9%増益となった。

➤ 2018年2月期業績予想

- ・同社は 2018/2 期業績予想について会社計画を据え置いた。ウェブサイト別の業績予想は開示していない。1 株当たり上期末配当金を期初予想比 4 円増額し 19 円、また年間配当金は同 4 円増配の 43 円を計画している。
- ・求人情報ビジネス以外の新事業部設立を 17 年 6 月 1 日に設立し、9 月時点の同部の人数は約 50 名となっている。2019/2 期には 60~70 名体制とし、事業部採算の黒字化を目論んでいる。

➤ アルファ・ウイン調査部の 2018年2月期業績予想

- ・アルファ・ウイン調査部(以下、当調査部)の 2018/2 期業績予想は売上高 40,000 百万円(前期比 20.6%増、会社計画 38,000 百万円)、営業利益 11,000 百万円(同順で 20.6%増、10,500 百万円)とする従来予想を据え置いた。同社計画を上回る業績予想を策定した要因は、主に「バイトル」の当調査部予想売上高が会社想定(会社予想は非公表)よりも高いためと推察される。加えて 2017/2 期第 4 四半期より「バイトル」の情報掲載料単価が、労働需給環境を反映し強含んでいることも考慮している。
- ・新分野の事業となる「LIMEX」の販売事業(開発及び製造は株式会社 TBM)については、同社が国内における

普及推進役として販売に努める模様である。紙製造が木材と多量の水を消費するのに対し、紙代替素材の「LIMEX」は地球上に無尽蔵にある石灰石が主成分であり環境に優しい点に当調査部は注目している。株式会社 TBM は、既に世界 43 カ国で特許取得・申請中であり、日本では同社が販売会社として普及に努める模様である。某飲食チェーン店のメニュー表や名刺として既に採用され、納品価格は従来品と同価格に収まる模様である。売上高目標は開示していない。したがって現時点では、売上高には織り込まず、コストについても同社の広告宣伝費の僅かな抑え込みで賄えると判断した。

- ・前期比 16.5%増収、18.2%営業増益とする当調査部の 2019/2 期業績予想も据え置いた。来春以降も毎年 300 名～330 名の採用を想定し、採用も順調に進むと思われることから、予想並みの業績は達成可能と判断している。

➤ 株主還元

- ・2018/2 期の 1 株当たり年間配当金は同社予想並み、当調査部の従来予想比 3 円増の 43 円と予想する。当調査部は 2019/2 期も増益が続くと予想しており、配当性向 30%を基準に増配が続くと予想する。なお、株主優待のクオカードは継続予定である。

【2379 ディップ 業種:サービス業】 株価(10/13終値)2,586円、時価総額160,332百万円、会社予想基準PER(今期)20.4倍

決算期		売上高	前期比	営業利益	前期比	経常利益	前期比	純利益	前期比	EPS	BPS	配当金
		(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(円)	(円)	(円)
2016/2	通期	26,798	37.2	7,162	49.0	7,170	48.8	4,675	63.7	84.4	183.8	26.0
2017/2	通期	33,178	23.8	9,119	27.3	9,141	27.5	6,167	31.9	111.2	264.8	36.0
2018/2	通期CE	38,000	14.5	10,500	15.1	10,501	14.9	7,023	13.9	126.6	—	43.0
2018/2	通期E	40,000	20.6	11,000	20.6	11,001	20.3	7,350	19.2	132.2	361.1	43.0
2019/2	通期E	46,600	16.5	13,000	18.2	13,001	18.2	8,700	18.4	156.5	425.5	47.0
2017/2	2Q	15,938	28.8	4,301	47.1	4,304	47.0	2,812	54.1	50.8	220.3	16.0
2018/2	2Q	18,777	17.8	5,069	17.9	5,074	17.9	3,502	24.5	63.0	307.0	19.0

(注)CE:会社予想、E:アルファ・ウイン調査部予想、2Qは第2四半期累計

ディスクレーマー

アルファ・ウイン 調査メモ (以下、本メモ) は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社 (以下、弊社) が作成したものです。

但し本件はその限りではありません。

本メモは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本メモに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本メモの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本メモに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本メモに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本メモの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

連絡は、電子メール [【info@awincap.jp】](mailto:info@awincap.jp) にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。